鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第78号
平成30年
10月1日発行

笑顔のおもてなしで やすらぎの時間を お客様に

「喫茶サロンさくら」（にこ♥ふる1階）で働く
吉住しのぶさんに、「アビリンピック2018」
全国大会出場への意気込みを伺いました。

アビリンピックとは

障がいのある方々が、日頃職場などで培った技能を競う大会です。大会の正式名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみやすい愛称として「アビリンピック」を使っています。「アビリンピック」（ABILYMPICS）は、「アビリティ」（ABILITY・能力）と「オリンピック」（OLYMPICS）を合わせたものです。

山形県では、平成30年7月10日に山形ビックウィングにて「アビリンピックやまがた2018」（県大会）が行われました。各部門の優秀賞に輝いた出場者は、11月に開催される「おきなわ技能五輪アビリンピック2018」（全国大会）へ出場します。

〇喫茶サロンさくら
山形県鶴岡市泉町 5-30（にこ♥ふる 1 階）
営業時間　11:00～15:00
TEL 0235-22-3710

・仕事で心掛けていることはありますか？

とにかく笑顔でいるということです。以前接遇の講師に、「笑顔」「挨拶」「清潔感」の三つが大切だと教えていただきました。それからは、元気よく、明るく、はきはきと、とにかく笑顔でいるということを心掛けています。

・仕事をする中で励みになっていることはなんですか？

やはりお客様から「ありがとう」「おいしかった」と言ってもらえると嬉しいです。「頑張ってください」と声をかけてもらうこともあったりして…。落ち込んでいるときでも、接客しているうちに元気になっていくんです。お客様から元気をもらっているということが、すごく嬉しくて励みになっていると感じています。

・全国大会への意気込みを教えてください

全国大会も感謝の心を大切に、笑顔で楽しんで来ようと思います！

山形県大雨
被災地支援・災害ボランティアの状況について

山形県大雨

平成30年8月5日からの大雨により、最上郡戸沢村古口地区で総計366㎜の雨量を観測するなど、記録的短時間大雨情報が発令され、河川水位の上昇により各自治体から避難指示・勧告が出されました。（現在は解除）また一時、３町村の８地域で集落の孤立、５市町村で断水が発生しました。

この大雨により、県内12市町村で床上浸水31棟、床下浸水446棟の被害が生じ、とくに戸沢村では12棟の床上浸水、145棟の床下浸水被害がありました。（8月22日現在／山形県危機管理・くらし安心局）

【参考】山形県ホームページ（災害情報）

戸沢村災害ボランティア活動
～１日でも早い復旧・復興を願って～

戸沢村に８月５日から降り続いた記録的な大雨の影響により甚大な被害が発生し、戸沢村社会福祉協議会は、８月11日（土）より「戸沢村災害ボランティアセンター（戸沢村災害ＶＣ）」を設置し、地域のニーズ把握やボランティアの受入れなどの活動を行いました。

お墓の泥かき作業

多くの鶴岡市民ボランティアも現地で活動している中、鶴岡市ボランティアセンターでは11日（土）と12日（日）の２日間ボランティアバスを運行し、急なボランティア募集にも関わらず２日間で17名が参加し、被災地での復旧のお手伝いを行ってきました。また、鶴岡市社協としても８月10日（金）から23日（木）まで毎日戸沢村災害ＶＣ運営スタッフとして職員を派遣しました。

活動の前に説明を受けるボランティア

現在は、多くのボランティアのおかげで生活復旧の目途がついてきたため、８月28日（火）に戸沢村災害ＶＣは閉所され、引き続き戸沢村社協を窓口にして、ニーズへの対応を行っている状況です。

ボランティア参加者の声

20代女性「自分の身近な地域で大きな被害を受けているのを実際に目にして驚いた。作業の中で被災された方々から災害時の様子や今の生活について話を聞き、改めていつ災害が起きるかわからないと感じた。」

60代男性「現地に行ってみると予想していた以上に被害は大きくボランティア活動の必要性を感じた。また、高校生等若い人達のボランティアも多くうれしく思った。」

床上浸水した被害宅で土砂を取り除く作業

災害ボランティアセンターとは…

鶴岡市で大規模災害が発生した際、消防や警察などによる人命救助が行われた後、災害発生後３～４日位に市の要請で市社協が「災害ボランティアセンター（災害ＶＣ）」を立上げ運営します。災害ＶＣは、被災地の状況確認やニーズ把握（家の片付けなどの困りごと）、各地から駆けつけることが予想されるボランティアの受入れやスムーズな派遣調整などを行い、被災された皆さんができるだけ早く安全な生活を取り戻し、復旧・復興を進められるよう支援します。

毎年鶴岡市では〝いざ〟という時に備えて防災訓練を実施しています。今年は９月23日（日）に羽黒地域泉地区で集中豪雨による河川氾濫危険水位に達したことを想定した鶴岡市総合防災訓練が行われ、災害ＶＣの設置訓練も実施されました。

鶴岡市災害VC設置訓練

❓福祉クイズ

質問：義援金とはどんなお金でしょうか。次ページの左側から選んでね。

共同募金にご協力お願いします

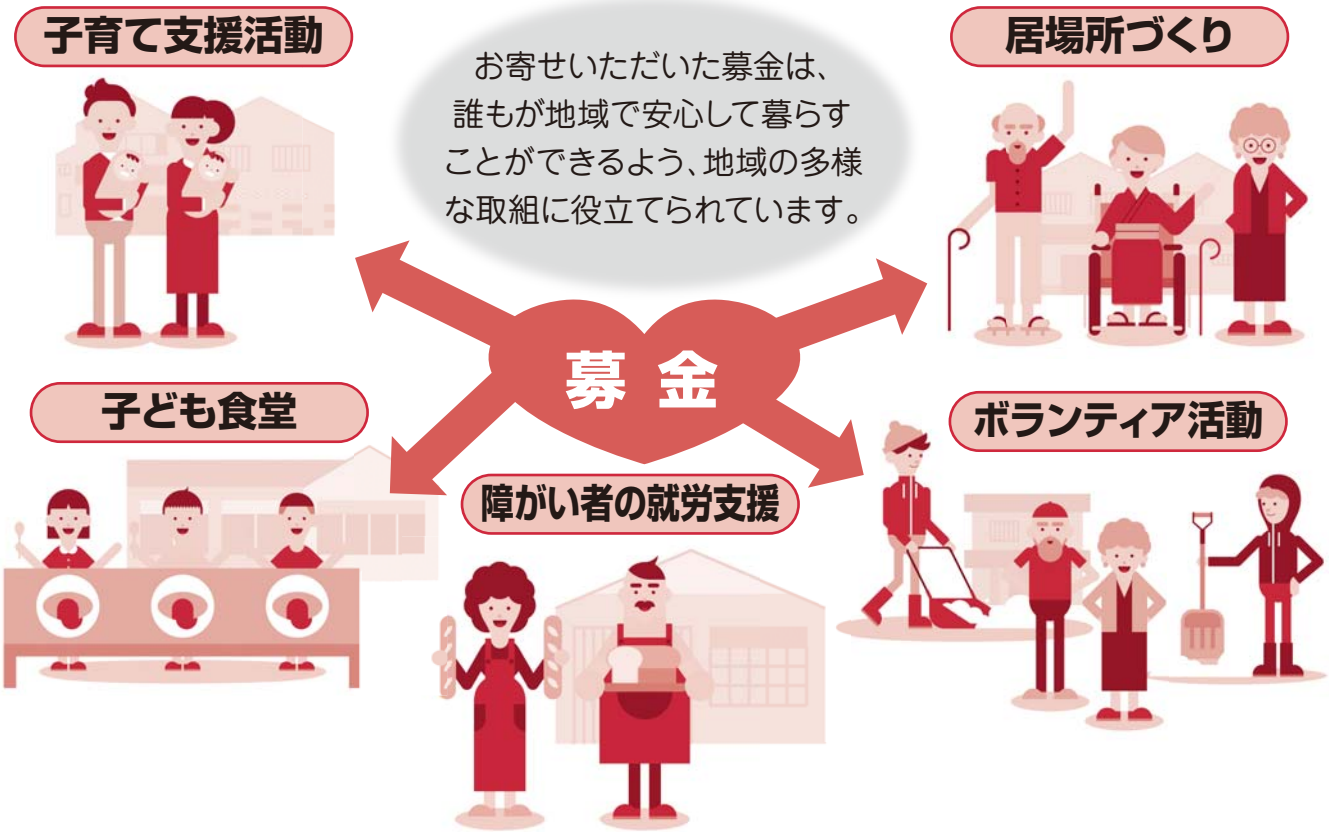
【赤い羽根募金・歳末たすけあい募金】

○運動期間
10月1日～12月31日

○戸別募金のお願い額
500円

赤い羽根と歳末助け合いを合わせた
一世帯あたりの目安額です。

ご理解とご協力をお願いいたします。



第31回　赤い羽根共同募金
チャリティ社交ダンスパーティー

- ●日　時　平成30年10月21日（日）
  午後6時30分～午後9時00分
- ●会　場　鶴岡市小真木原総合体育館
- ●参加費　1,000円
  ※参加費の一部は共同募金に寄付されます。
- ●主　催　チャリティ社交ダンスパーティー
  実行委員会

地域・在宅福祉事業配分のご案内

- ●対　　象：ＮＰＯ法人、民間組織団体、
  ボランティア団体等
- ●対象事業：平成31年度に行う事業で、先駆的な
  社会福祉活動及び活動の立ち上げ等
  への支援
- ●配 分 額：上限30万円
  （総事業費の4分の3の額）
- ●お申込み：平成30年10月12日(金)まで

○お問合せ　鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課　☎24-0053

福祉クイズ

①被災した人たちに直接配るお金

②被災者を支援する人たちを支えるお金

鶴岡市社会福祉協議会

福祉のつどい

開催のご案内

おだがいさま のまちづくりをめざして

日　時

平成30年10月10日(水)
午後1時20分　開会

場　所

鶴岡市中央公民館

鶴岡市社会福祉協議会の基本理念「おだがいさまのまちづくり」を進めていくため、鶴岡市社協が果たす役割とその活動を広く知っていただくとともに、地域住民・団体・関係者などの協働を呼びかける機会とすることを目的に『福祉のつどい』を開催します。

日程

12:30	受付開始
13:20	オープニング
	開会行事
	表　彰
	地域福祉活動の紹介
	講　演
16:00	閉　会

※当日は手話通訳・要約筆記がつきます。
※駐車場が限られておりますので、乗り合わせてご参加くださるようご協力をお願いいたします。

講演

演　題　「地域の宝物」みつけた！
～だれもがおだがいさまのまちづくりをめざして～

講　師　NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
理事長　池田（いけだ）　昌弘（まさひろ）　氏

宮城県仙台市在住。全国社会福祉協議会、栃木県社会福祉協議会、東北福祉会せんだんの杜副杜長（特別養護老人ホームなどの施設長を併任）を経て、平成17年7月から現職。
平成25年度より「生活支援コーディネーターの育成に関する調査研究委員会」の委員として、国の養成研修のプログラム検討、指導者（中央）研修講師も担当した。
ホームページ情報
http://www.clc-japan.com/

多数の皆様のご参加をお待ちしております

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成30年7月12日～平成30年9月7日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
- 阿部　優 様　商品券10,000円
- 寒河江　浩二 様　89,790円
- 中田　幸雄 様　花火24セット

◎櫛引福祉センターへ
- 長南　歩美 様　児童用チャイルドシート4点

◎朝日福祉センターへ
- あさひ駐在所連絡協議会 様　4,300円

◎温海福祉センターへ
- 匿名　5,000円
- 佐藤　明美 様　50,000円
- 佐藤　嘉一 様　50,000円
- 本間　重太 様　30,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ
- 匿名　50,000円

★くしびき保育園へ
- 大滝　まり子 様　ベビーカー1台
- 犬塚　潤二 様　おもちゃ一式

★もみじが丘へ
- 坂井　彩 様　布生地　8種類

おだがいさま
第78号
平成30年10月1日発行
発行部数　48,800部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ❤ふる２階）
TEL 0235-24-0053　FAX 0235-23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター　TEL 24-0053
藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

？福祉クイズ

こたえ　①

義援金は被災した人たちに配られるお金です。しかし、正しく平等に分配する必要があるため配布されるのは被災から時間が経過した後になります。一方、支援金は被災者を支援する人たちを支えるお金です。被災地での救命・復旧活動に使われるため、すぐに活動資金として使われます。